



平成 22 年 6 月号



概況

最近の県内経済は、全体としては厳しい状況にあるものの、生産面に持ち直しの動きがうかがわれる。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は21ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車ともにプラスとなり、全体では9ヶ月連続のプラスとなった。

住宅建設は、持家、貸家が減少し、4ヶ月連続のマイナスとなった。公共投資は、独立行政法人等、県が減少したものの、国、市町村が増加し、全体では前年同月を上回った。

生産関連の動きをみると、鉄鋼はフェロニッケルが生産水準を引き上げており、一般機械、電気機械、電子部品・デバイスは新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加基調にある。一次産業関連では、21年産県産米「つがるロマン」の卸売価格が前月比、前年同月比とも幾分低下した。21年産県産リンゴ販売は県外出荷量が前年同月を下回ったものの、消費地市場価格が上昇し、県外市場販売額は幾分上回った。八戸港水揚げは数量が前年同月比減少したものの、イカの平均単価が上昇し、金額は増加した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比横バイの0.32倍となった。依然として厳しい状況が続く中、新規求人は製造業を中心に上向きの動きがみられる。

個人消費

4月の**大型小売店販売額**は、前年同月比0.8%減(速報ベース、店舗調整後)と21ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同3.5%減と43ヶ月連続のマイナス、一方、スーパーは同0.2%減と16ヶ月ぶりのプラスとなった。4月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)の合計が前年同月比21.5%増と9ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は、普通・小型乗用車、貨物車がそれぞれプラスとなり、合計では10ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車がマイナスとなったものの、貨物車がプラスとなり合計では2ヶ月連続のプラスとなった。

住宅投資

4月の**新設住宅着工戸数**は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では前年同月比23.0%減の394戸と4ヶ月連続のマイナスとなった。

公共投資

4月の**公共工事請負額**は全体では前年同月比6.4%増の334億9,800万円となった。独立行政法人等が同41.5%減、県が同11.8%減となったものの、国は同30.8%増、市町村は同128.3%増となった。

一次産業

21年産**県産米**「つがるロマン」の卸売価格(農林水産省調査、22年4月分)は前月比0.1%低下、前年同月比1.8%低下の3,307円/10kgとなった。4月の**21年産県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比14.3%減となったものの、消費地市場価格が同17.4%上昇し、県外市場販売額は同0.2%増となった。4月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比6.3%減となったものの、イカの平均単価が上昇し、金額は同6.6%増となった。

生産活動

3月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比1.1%上昇の95.2となり、2ヶ月連続で前月を上回った。原指数をみると、全体では前年同月比22.5%上昇の96.9となった。鉄鋼はフェロニッケルが東アジアの需要持ち直しから生産水準を引き上げており、鋳物も持ち直しの動きが続いている。一般機械、電気機械、電子部品・デバイスは新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加基調にある。

一 次 産 業

米

☆「つがるロマン」の卸売価格、前年同月比1.8%低下

農林水産省が発表した21年産米穀卸売価格調査結果の概要(22年4月分)によると、公表21銘柄のうち県産米の「つがるロマン」の卸売価格は、前月比0.1%低下、前年同月比1.8%低下の3,307円/10kgとなった。

21年産米の卸売価格は公表21銘柄全てで前年同月比値下がりした。下落率が大きかった銘柄は、「茨城コシヒカリ」の▲4.2%、「新潟コシヒカリ(魚沼産)」の▲3.6%、「福島コシヒカリ(会津)」の▲3.2%などであった。一方、下落幅が小さかった銘柄は「富山コシヒカリ」の▲0.1%、「島根コシヒカリ」の▲0.5%などであった。なお、前月比では6銘柄が上昇、12銘柄が低下、1銘柄が横ばいとなった。

平成21年産米(県産米及び東北・北海道主要銘柄)の卸売価格の推移

(単位:円/10kg,包装・消費税込み)

産地	銘柄	21年 10月	21年 11月	21年 12月	22年 1月	22年 2月	22年 3月	22年 4月	21年 4月	前年同月比 %
青森	つがるロマン	3,367	3,326	3,333	3,333	3,333	3,309	3,307	3,368	1.8
秋田	あきたこまち	3,593	3,593	3,598	3,591	3,587	3,580	3,582	3,604	0.6
岩手	ひとめぼれ	3,527	3,507	3,504	3,493	3,492	3,467	3,468	3,560	2.6
宮城	ひとめぼれ	3,599	3,600	3,592	3,582	3,580	3,568	3,566	3,619	1.5
山形	はえぬき	3,452	3,423	3,427	3,420	3,420	3,375	3,388	3,474	2.5
福島	ひとめぼれ	3,464	3,455	3,462	3,435	3,450	3,449	3,442	3,536	2.7
新潟一般	コシヒカリ	4,012	4,021	4,023	4,020	4,017	4,015	4,012	4,142	3.1
北海道	きらら397	3,209	3,266	3,276	3,256	3,253	3,234	3,226	3,308	2.5

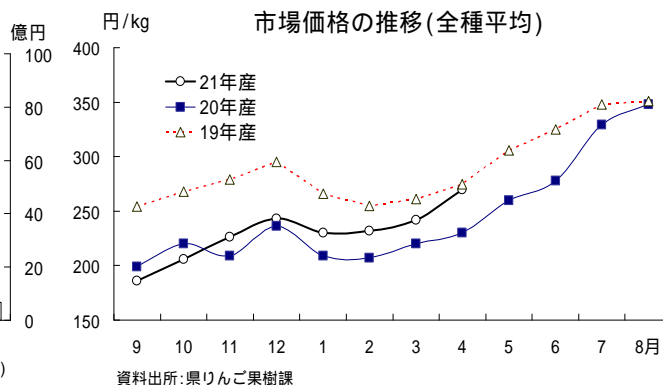
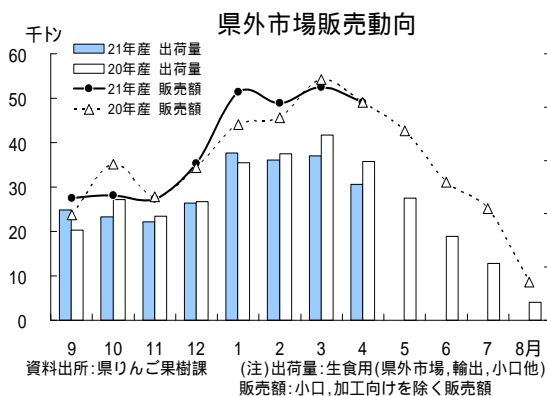
資料出所:農林水産省

りんご

☆消費地市場価格、好調な値動きが続く

21年県産りんご販売、4月の県外出荷量は前年同月比14.3%減の3万673トンとなった。これは前3ヶ年の4月平均出荷量を7.5%下回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比29.7%上昇、前3ヶ年比較で4.9%上昇の192円/kgとなった。一方、消費地市場価格は前年同月比17.4%上昇、前3ヶ年比較で0.7%上昇の270円/kgとなった。消費地市場価格の品種別内訳をみると、「ふじ」が前年同月比18.6%上昇の274円/kg、「王林」が同12.3%上昇の227円/kg、「ジョナゴールド」が同17.4%上昇の284円/kgなど、ほとんどの品種で前年同月を上回る価格となった。この結果、4月の県外市場販売額は同0.2%増の81億8,600万円となった。

21年産県産りんご販売は、市場への入荷量が少なかったことに加え、良品物が出荷されていることや、天候不順の影響で果実全体の品薄感が広がったことなどから好調な値動きが続いている。

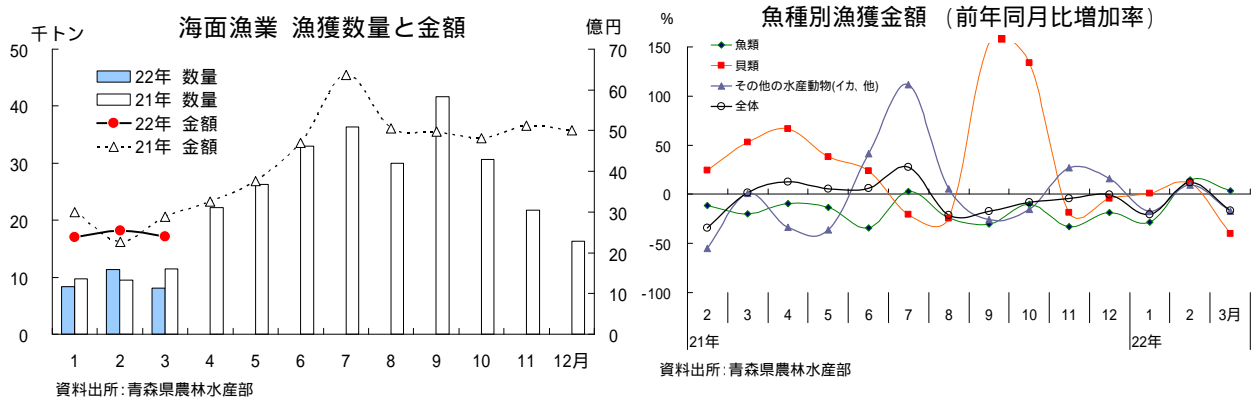


海面漁業

ホタテガイ、近海アカイカの水揚げが大幅に減少

3月の本県海面漁業の漁獲数量は前年同月比29.1%減の8,086トン、金額は同16.9%減の23億9,579万円となった。

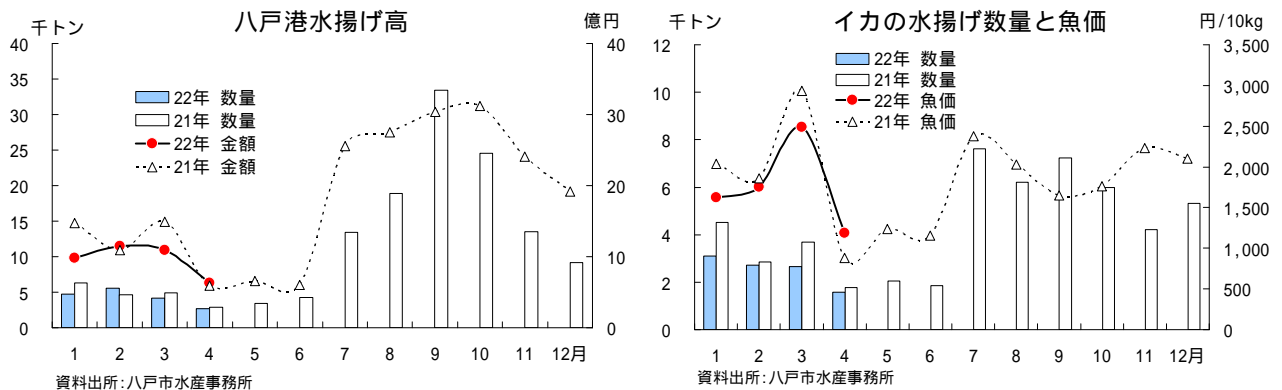
魚種別にみると、「魚類」はスケトウダラ、サメ、サクラマスなどの漁獲量が増加し、数量で同17.6%増の2,102トン、金額で同3.7%増の7億385万円となった。一方、「貝類」はホタテガイ(成貝・半成貝)が大幅に減少し、数量で同47.3%減の2,757トン、金額で同39.9%減の3億6,179万円となった。また、イカなど「その他の水産動物」は海外アカイカの水揚げが大幅に増加したものの、この時期主力の近海アカイカが大きく落ち込み、数量で同26.7%減の3,210トン、金額で同16.9%減の23億9,579万円となった。



八戸港水揚げ

イカの水揚げ平均単価上昇、金額は前年同月比6.6%増

4月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比6.3%減の2,676トンとなったものの、平均単価が上昇し、金額は同6.6%増の6億2,701万円となった。うちイカ釣り漁は、数量が同10.2%減の1,588トンとなったものの、平均単価が同34.7%上昇の1,185円/10kgと大幅に上昇し、金額は同21.0%増の1億8,821万円となった。内訳をみると、アメリカオオアカイカの相場が回復し、数量が同14.7%減少したものの、金額は同6.7%増加した。また、前年同月は水揚げがなかった船凍スルメイカが平均単価を押し上げた。このほか、機船底引き網漁は、スケトウダラの好調な水揚げにより、数量が同7.3%増の884トン、金額が同1.3%増の3億3,892万円となった。



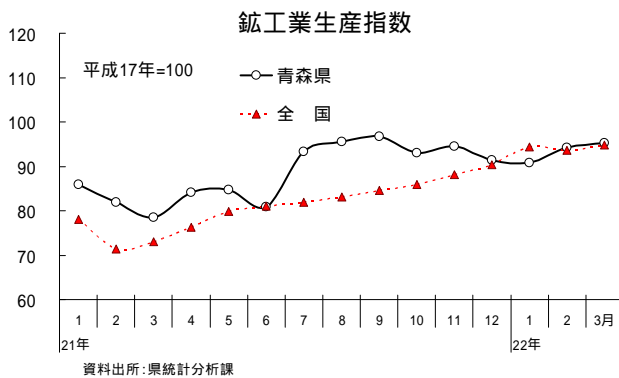
二 次 産 業

鉱工業生産

2ヶ月連続上昇、前月比1.1%上昇の95.2

3月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比1.1%上昇の95.2となり、2ヶ月連続で前月を上回った。主要6業種をみると、パルプ・紙が同8.0%、鉄鋼が同5.7%それぞれ上昇した。一方、電子部品・デバイスは同5.5%、電気機械は同4.1%、ウエートの高い食料品は同2.7%、一般機械は同2.5%それぞれ低下した。このほかでは、金属製品が同50.8%上昇し、化学は同80.7%、窯業・土石は同15.2%それぞれ低下した。原指数でみると、全体では前年同月比22.5%上昇の96.9となった。

鉄鋼はフェロニッケルが東アジアの需要回復から生産水準を引き上げており、鋳物も新興国や自動車向けの需要から持ち直しの動きが続いている。一般機械、電気機械、電子部品・デバイスは新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加基調にある。



業 種 ()内は一万分比ウェート	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年=100	前月比(%)	平成17年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10000.0)	95.2	1.1	96.9	22.5
食料品 (2249.0)	100.2	2.7	96.8	14.3
一般機械 (1254.7)	106.3	2.5	117.3	116.0
電子部品・デバイス (1106.8)	102.1	5.5	104.0	41.7
鉄 鋼 (1008.6)	94.1	5.7	103.4	56.7
パルプ・紙 (807.5)	94.5	8.0	92.3	3.8
電気機械 (550.4)	118.0	4.1	145.6	56.1

資料出所: 県統計分析課

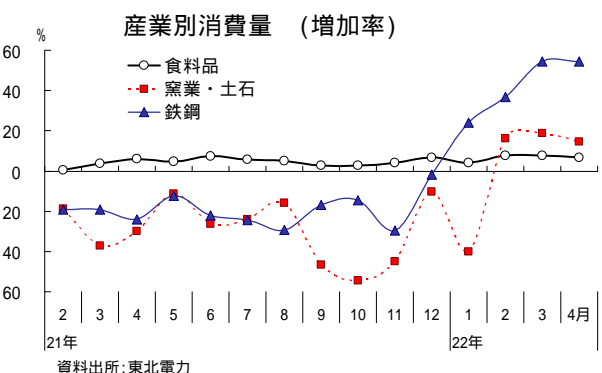
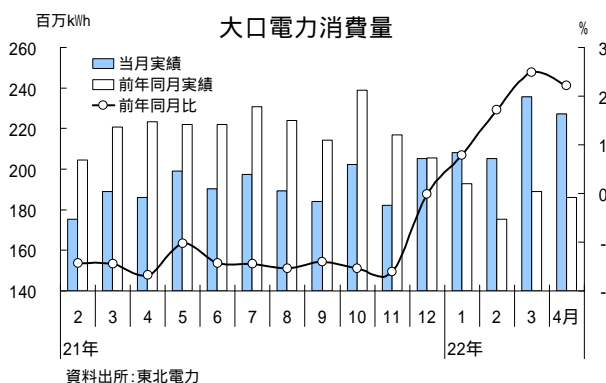
大口電力

製造業の大口電力消費量、4ヶ月連続のプラス

4月の県内大口電力消費量は、前年同月比22.2%増の2億2,736万kWhとなった。うち製造業は同28.7%増の1億6,939万kWhと4ヶ月連続のプラスとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウエートの高い鉄鋼が同54.4%増、窯業・土石が同14.4%増、食料品が同6.7%増とそれぞれ前年同月を上回った。このほかでは、機械が同19.3%増、化学が同2.8%増とそれぞれ前年同月を上回った。一方、非鉄金属は同12.7%減、パルプ・紙は同13.4%減とそれぞれ下回った。

県内の大口電力消費量は、鉄鋼、機械が前年を大幅に上回って推移しているほか、製造業全体に上向きの操業が続いていることがうかがわれる。

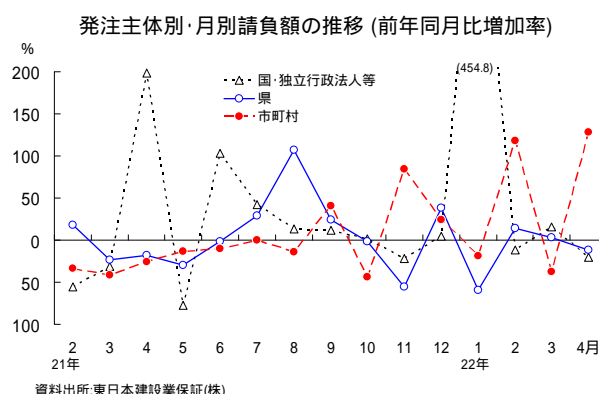
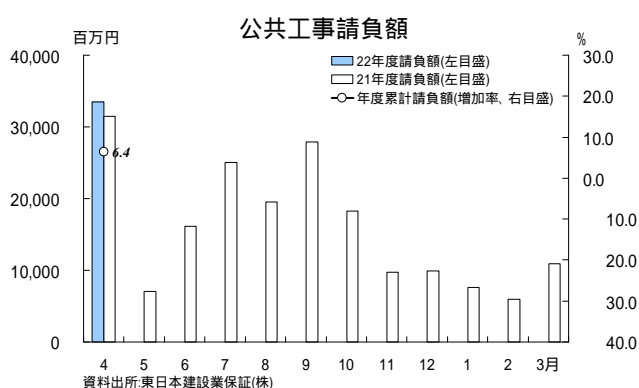


公共工事

国、市町村が増加、前年を上回るスタート

4月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比6.4%増の334億9,800万円となった。当月の請負額は、国が防衛省、国土交通省などの増加により同30.8%増の61億500万円、市町村が八戸市、むつ市などの増加により同128.3%増の110億7,700万円とそれぞれ大幅に増加した。一方、独立行政法人等は鉄道建設・運輸施設整備機構の減少により同41.5%減の65億2,400万円、ウエートの高い県は県立中央病院などで増加したものの、東青地域県民局、三八地域県民局などの減少により同11.8%減の78億8,800万円となった。

平成22年度の県内の公共工事は新幹線関連工事が落ち込む中、国、市町村の前倒し発注などで前年を上回るスタートとなった。

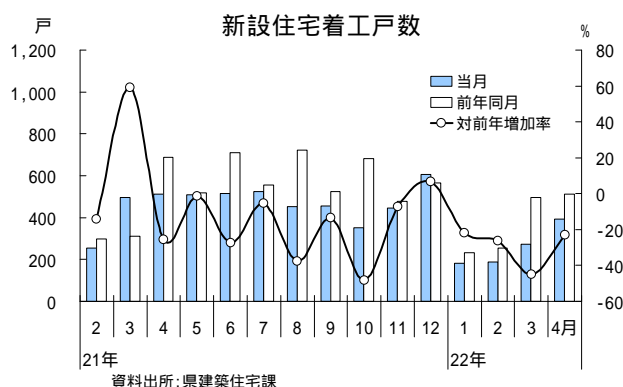


住宅着工

4ヶ月連続のマイナス、前年同月比23.0%減

4月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比23.0%減の394戸と4ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、分譲住宅が同185.7%増となったものの、持家は同22.3%減、貸家は同39.5%減とそれぞれ減少した。地域別にみると、八戸市、五所川原市、三沢市で増加したものの、青森市、弘前市、黒石市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、郡部で減少した。持家は八戸市で幾分増加したものの、それ以外の市、郡部では減少した。貸家は弘前市、三沢市、郡部で増加がみられたものの、青森市が全減(56戸減)となったほか、八戸市、十和田市、むつ市で減少した。分譲住宅は青森市、弘前市、八戸市、五所川原市で増加した。

県内の新設住宅着工は、貸家の大幅な落ち込みが続いているほか、持家も再び減少傾向となり、全体の着工件数は低調に推移している。



利用関係別戸数

(単位:戸,%)

	22年 4月	21年 4月	前年 同月比
持家	278	358	22.3
貸家	89	147	39.5
給与住宅	7	0	
分譲住宅	20	7	185.7
総戸数	394	512	23.0

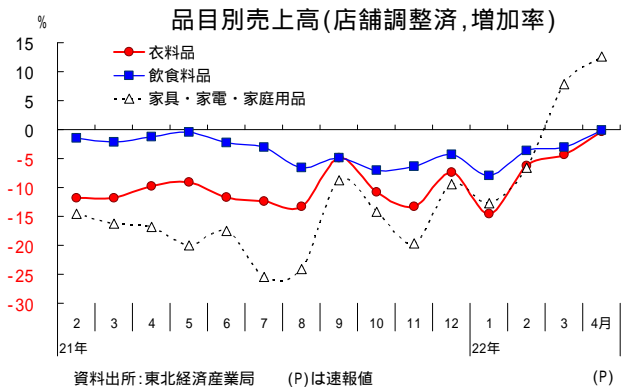
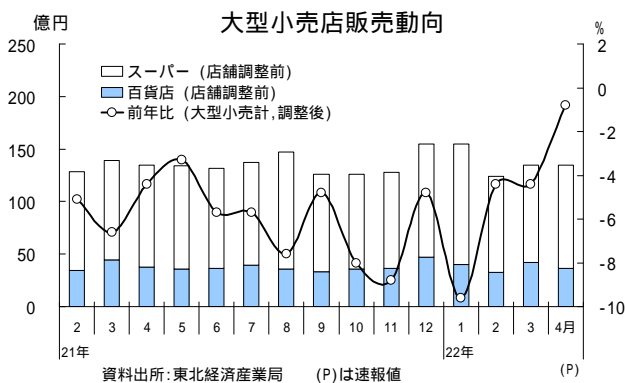
資料出所:県建築住宅課

三次産業

大型小売店販売

スーパーが16ヶ月ぶりのプラス

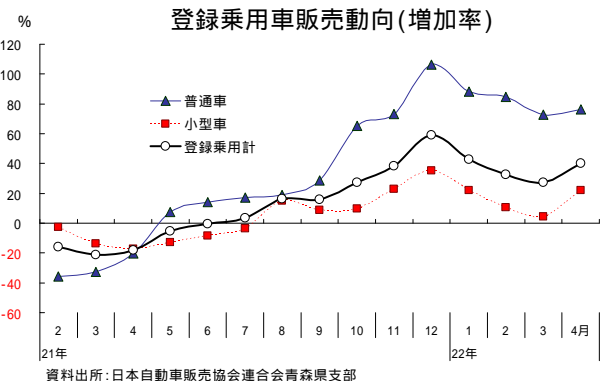
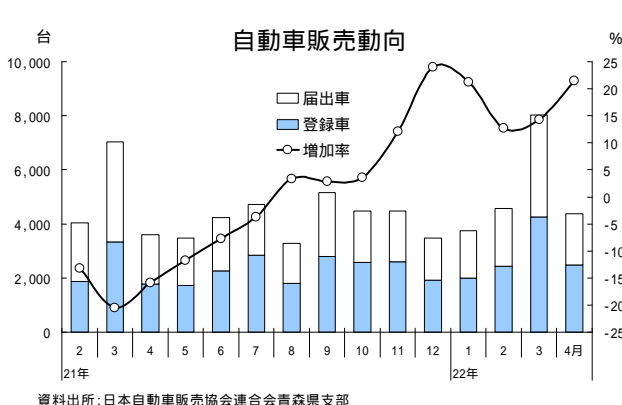
4月の県内大型小売店販売額は、前年同月比0.8%減(速報ベース、店舗調整後)と21ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同3.5%減と43ヶ月連続のマイナス、一方、スーパーは同0.2%増と16ヶ月ぶりのプラスとなった。品目別では、衣料品が同0.3%減、ウエートの高い飲食料品が同0.1%減となった。一方、家具・家電・家庭用品は同12.6%増となった。衣料品は婦人コート等で動きがみられたものの、低温の影響で春物、初夏物衣料が振るわず、前年を幾分下回った。飲食料品は青果物や惣菜で動きがみられたものの、水産、畜産物などが振るわず前年を幾分下回った。家具・家電・家庭用品は、薄型テレビや冷蔵庫など家電が好調に推移したほか、家具や食器等の家庭用品も前年を上回る売上げとなった。



自動車販売

自動車販売台数、9ヶ月連続のプラス

4月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比21.5%増の4,374台と9ヶ月連続のプラスとなった。内訳にみると、登録車は、普通乗用車が同76.5%増、小型乗用車が同22.0%増、貨物車が同52.7%増とそれぞれ大幅プラスとなった。この結果、登録車合計では同40.9%増と10ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同7.2%減となったものの、貨物車は同31.0%増となり、届出車合計では同2.8%増となった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同40.3%増となり、全体では同18.5%増と9ヶ月連続のプラスとなった。県内の自動車販売は、登録乗用車の好調な売上が続いており、前年を大幅に上回って推移している。

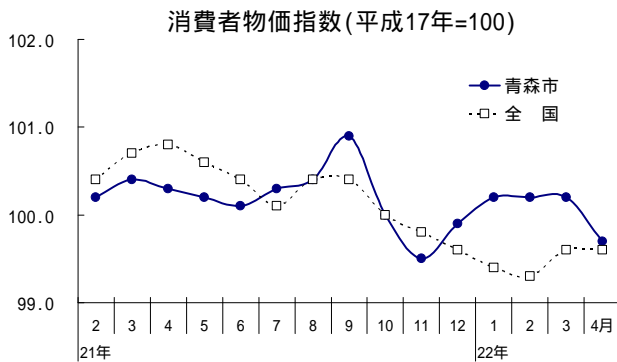


消費者物価指数

高校授業料無償化により「教育」が大幅下落

4月の青森市の消費者物価指数(平成17年=100,速報値)は99.7となり、前月比0.5%下落、前年同月比0.6%下落となった。主要費目別に前月と比べると、「教育」が高校授業料無償化の影響により28.6%下落し、全体を押し下げた。一方、「被服及び履物」はシャツ・セーター類などの値上がりにより4.5%、「光熱・水道」は灯油、ガス代などの値上がりにより0.9%、「保健医療」は医薬品などの値上がりにより0.9%、「食料」は生鮮野菜の値上がりにより0.8%それぞれ上昇した。

前年同月との比較では、「教育」(28.8%)、「家具・家事用品」(4.9%)、「教養娯楽」(1.0%)などの変動が大きかった。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は99.1となり、前月比0.7%下落、前年同月比1.0%下落となった。



資料出所:県統計分析課

費目別指数の動き(平成22年4月)

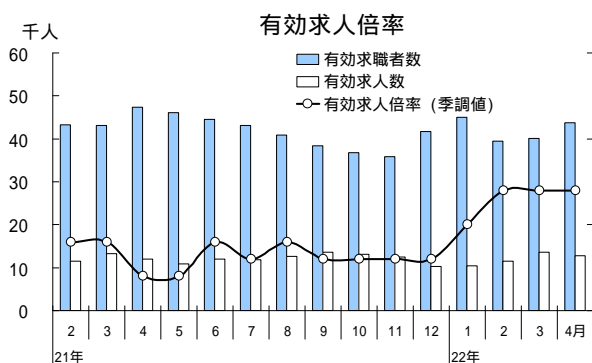
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.7	0.5	0.6
食料	103.9	0.8	0.6
住居	98.1	0.1	0.2
光熱・水道	108.0	0.9	3.2
家具・家事用品	91.8	0.0	4.9
被服及び履物	102.8	4.5	0.9
保健医療	98.1	0.9	0.5
交通・通信	99.3	0.3	0.6
教育	72.9	28.6	28.8
教養娯楽	92.7	0.1	1.0
諸雑費	101.2	0.1	0.4

資料出所:県統計分析課

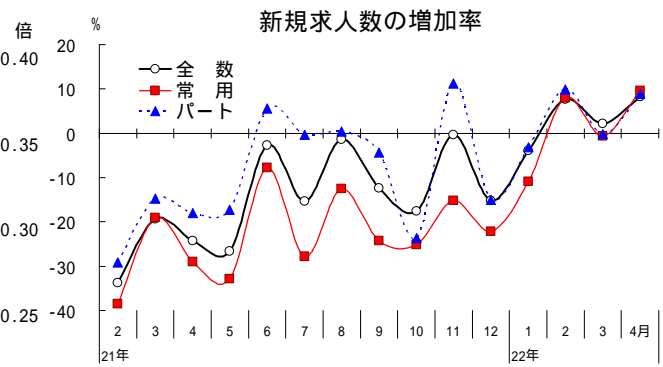
雇用動向

新規求人、製造業を中心に上向きの動き

4月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比7.3%増の1万2,814人、有効求職者数は同7.7%減の4万3,748人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比横パイの0.32倍となった。新規求人の動きをみると、臨時季節求人数が前年同月比4.8%減となったものの、常用求人数は同9.6%増、パート求人数は同8.9%増となり、全数では同8.3%増となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比で見ると、卸売業、生活関連サービス業、娯楽業などで減少したものの、製造業、教育・学習支援業、複合サービス事業、情報通信業などで大幅に増加した。製造業は金属製品、印刷などで幾分減少したものの、電気機械、情報通信機械、鉄鋼・非鉄金属などで大幅に増加し、製造業全体では同55.1%増となった。県内の雇用情勢は依然として厳しい状況が続いている中、新規求人は製造業を中心に上向きの動きがみられる。



資料出所:青森労働局



資料出所:青森労働局

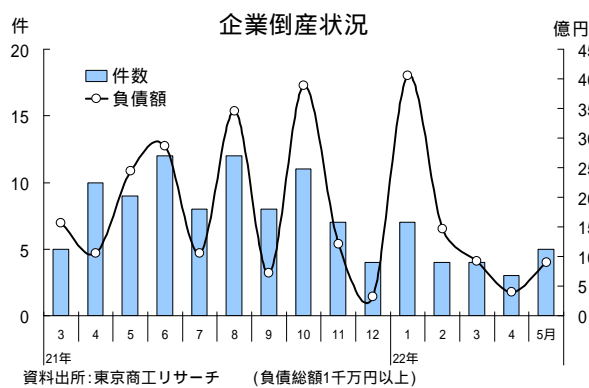
企業倒産

県内企業倒産、小康状態が続く

4月の県内企業倒産は、件数が前年同月比4件減の5件、負債総額は同15億4,900万円減の9億100万円となった。前月比では、件数が2件増、負債総額は5億500万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では建設業が2件、一次産業、卸売業、サービス業が各1件となった。地域別では八戸市が2件、青森市、むつ市、北津軽郡が各1件となった。また、倒産要因は販売不振が3件、放漫経営、他社倒産の余波が各1件となった。

県内企業倒産は、このところ件数、負債総額ともに前年を下回って推移しており、小康状態が続いている。



業種別・原因別件数 (平成22年5月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	1	放漫経営	1
建設業	2	過小資本	
製造業		他社倒産の余波	1
卸売業	1	既往のシワ寄せ	
小売業		信用低下	
不動産業		販売不振	3
運輸・通信業		売掛金回収難	
サービス業ほか	1	在庫状況悪化	
		設備投資過大	
		その他	
合計	5	合計	5

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

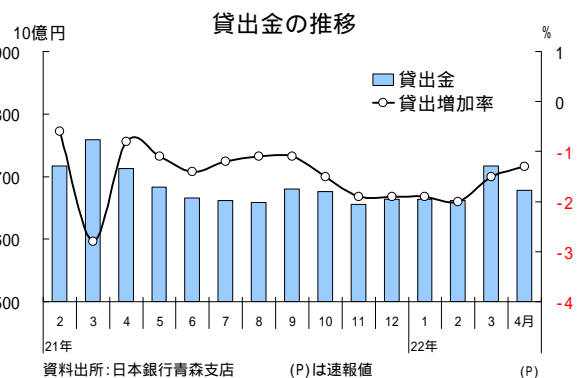
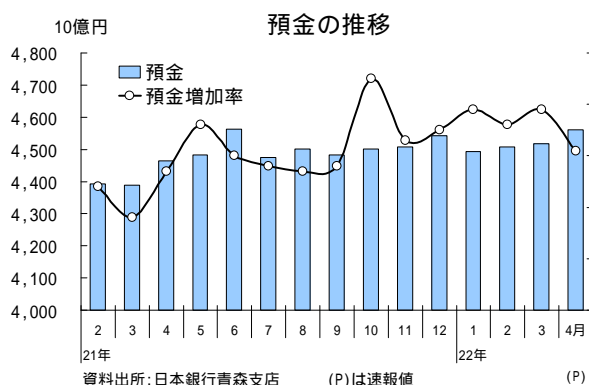
金融動向

貸出金 14ヶ月連続のマイナス

4月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.1%増の4兆5,597億円、貸出金は同1.3%減の2兆6,785億円となった。

預金は個人預金、法人預金、公金預金ともに前年を上回って推移しており、42ヶ月連続で前年を上回った。個人、法人、公金ともプラス幅が縮小し、全体のプラス幅は前月比0.8ポイント縮小した。一方、貸出金は一般法人向け及び個人向けが前年を下回って推移しており、14ヶ月連続で前年を下回った。一般法人向け及び個人向けのマイナス幅が拡大したものの、地公体向けのプラス幅が拡大し、全体のマイナス幅は前月比0.2ポイント縮小した。

県内の金融動向は、預金が堅調に推移する一方、貸出金は個人向け、法人向けの減少傾向が続いている。



青森県景気動向指数

一致系列

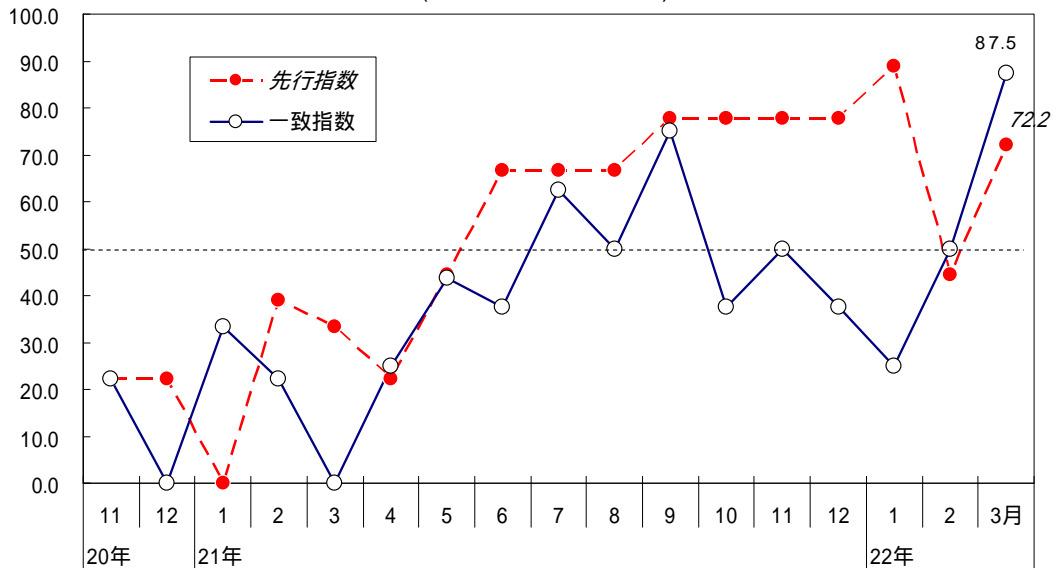
		大型小売店 販売額 (既存店)	鉱工業生産 指数	電気機械 生産指数	大口電力 使用量	有効求人数 (全数)	総実労働 時間数 (全産業)	海上出入 貨物量 (八戸港)	東北自動車 道IC利用 台数	日銀券 月中発行高	
21年	3月										
	4月										
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
	22年	1月									
		2月									
3月											

(注1) 5カ月前と比べて改善した指標を、悪化した指標を で表示、- は変化なし

(注2) 「東北自動車道IC利用台数」については、休日のETC割引実施の影響を受けるため、当面の間、判定に用いないこととする。

資料出所：県統計分析課

青森県景気動向指数の動き
(先行指数・一致指数)



資料出所：県統計分析課

景気動向指数 (DI) とは

1. あらかじめ選定された景気に敏感な経済指標のうち、5カ月前と比べて上昇あるいは拡張を示している指標の割合を表す指数 (Diffusion Index)。DI には次の3指数がある。

- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状判断に利用
- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の予測に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから景気の確認に利用

一致指数が3カ月連続して50%を上(下)回る場合、景気は転換点を迎えたとみなされる。

2. DI の算出は、 $[(\text{改善指標数} \times 1) + (\text{- : 変化なし指標数} \times 0.5)] \div \text{全指標数} \times 100$ で算出する。

国内景気

概況

国内景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。個人消費は持ち直している。輸出は緩やかに増加し、生産は持ち直している。設備投資は下げ止まりつつある。住宅建設は持ち直している。雇用情勢は依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。物価の動向を総合すると、緩やかなデフレ状況にある。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 25ヶ月連続のマイナス -

4月の大型小売店販売は前年同月比3.6%減と25ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同3.7%減、スーパーは同3.6%減となった。商品別にみると、衣料品が同7.7%減、飲食料品が同2.0%減、その他商品が同2.6%減となった。

住宅建設

- 17ヶ月ぶりのプラス -

4月の新設住宅着工戸数は前年同月比0.6%増の6万6,568戸と17ヶ月ぶりのプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同2.3%増と6ヶ月連続、分譲住宅が同27.4%増と2ヶ月連続のプラスとなった。一方、貸家は同7.0%減と17ヶ月連続のマイナスとなった。

企業倒産

- 倒産件数9ヶ月連続で前年同月比減少 -

4月の企業倒産は件数が前年同月比13.2%減の1,154件、負債総額は同48.3%減の2,700億円となった。倒産件数は9ヶ月連続で前年同月を下回った。また、負債100億円以上の大型倒産が2件(前年同月11件)にとどまり、負債総額は3ヶ月連続で前年同月を下回った。

為替動向

- 5月末終値91円47銭 -

5月の東京為替市場は欧州の財政不安からユーロ売り、円買いが進み4月終値から反発、連休明けから月半ばまでは93円を挟んだ動きとなった。下旬にかけては欧州経済への不安から株価が下落、ユーロ、豪ドル売り、円買いの動きが強まり89円後半まで円高が進んだ。月末にかけては世界的な株安の一服感から円売りの動きがみられ続落。月末終値は91円47銭。

鉱工業生産指数

- 前月比1.3%上昇の96.0 -

4月の鉱工業生産指数は前月比1.3%上昇の96.0(季節調整値)と2ヶ月連続で上昇した。上昇に寄与したのは、一般機械工業、金属製品工業等であった。品目別では半導体製造装置、アクティブ型液晶素子等であった。なお、生産予測調査によると、5月は電気機械工業、鉄鋼業等の上昇により当月比0.4%上昇を予測。

新車販売（除く軽自動車）

10ヶ月連続のプラス

5月の国内新車販売は前年同月比28.0%増の22万8,514台と10ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同29.9%増、貨物車が同12.3%増となった。乗用車は普通乗用車が同47.0%増と11ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同16.7%増と10ヶ月連続のプラスとなった。

完全失業率

完全失業者数18ヶ月連続の増加

4月の完全失業率は前月比0.1ポイント上昇の5.1%(季節調整値)となった。完全失業者数は前年同月比10万人増の356万人と18ヶ月連続の増加。離職者を求職理由別にみると、自己都合が同1万人減の102万人、リストラ等勤め先都合が同7万人減の107万人などとなった。

消費者物価指数

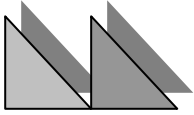
- 前月比横バイ、前年同月比1.2%下落 -

4月の全国消費者物価指数(2005年=100)は99.6となり前月比横バイ、前年同月比1.2%下落。前月に比べ食料、被服及び履物などが上昇した一方、高校授業料無償化により教育は大幅に下落した。生鮮食品を除く総合指数は99.2となり、前月比0.3%下落、前年同月比1.5%下落。

国際収支

- 黒字幅拡大、経常収支2兆5,342億円 -

3月の経常収支額は黒字幅が拡大し、前年同月比9,996億円増の2兆5,342億円となった。所得収支、サービス収支の黒字幅が縮小したものの、貿易収支の黒字幅が大幅に拡大した。内訳は、貿易収支が1兆747億円、所得収支が1兆6,540億円、サービス収支が144億円のそれぞれ黒字となり、経常移転収支は2,089億円の赤字となった。

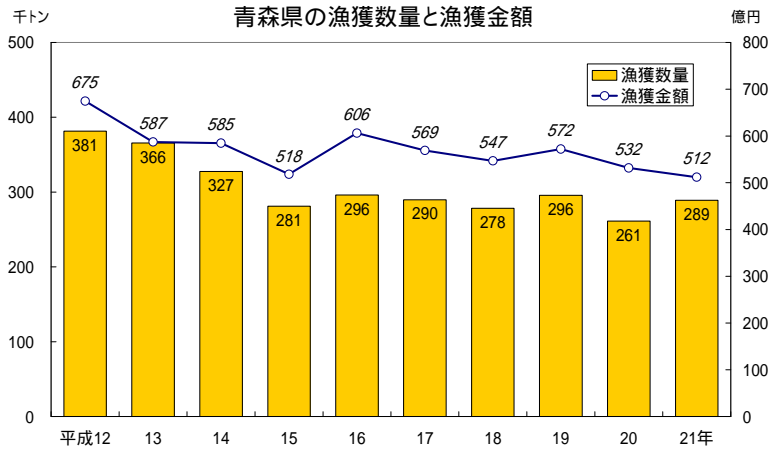


今月の統計

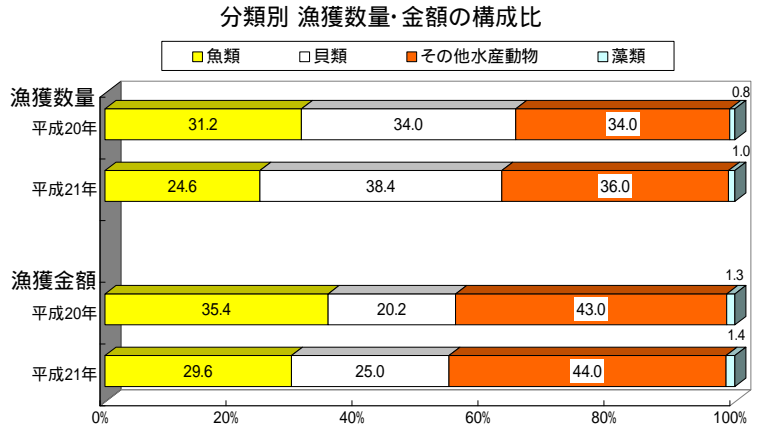
平成21年の青森県の漁獲数量・金額

青森県農林水産部がまとめた「青森県海面漁業に関する調査結果書」によると、平成21年の本県の漁獲数量は前年比10.6%増の28万9,027ト、漁獲金額は同3.7%減の511億8,700万円となった。

魚類、貝類等の分類別に構成比をみると、漁獲数量は「貝類」が全体の38.4%(11万990ト)で最も多く、次いでイカなどの「その他水産動物」が36.0%(10万4,183ト)、「魚類」が24.6%(7万1,107ト)、「藻類」が1.0%(2,747ト)の順となった。一方、漁獲金額は「その他水産動物」が44.0%(225億4,017万円)で最も多く、次いで「魚類」が29.6%(151億2,814万円)、「貝類」が25.0%(127億7,690万円)、「藻類」が1.4%(7億4,217万円)の順となった。



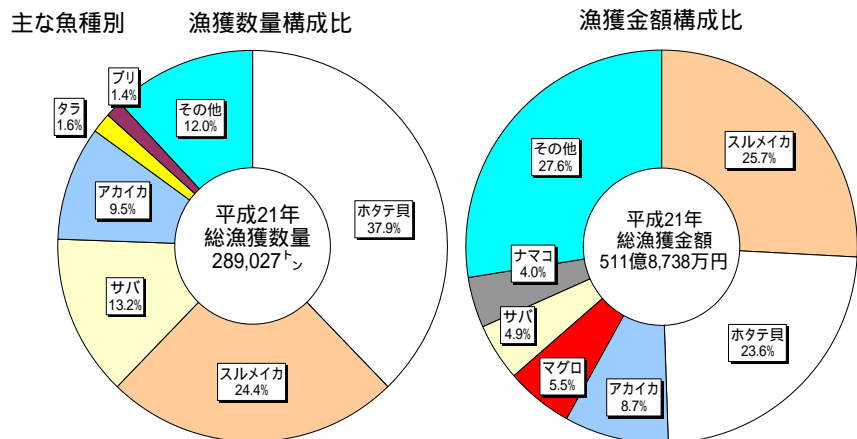
資料：青森県農林水産部



資料：青森県農林水産部

主な魚種別の構成比をみると、漁獲数量は、「ホタテ貝」が37.9%で最も多く、次いで「スルメイカ」が24.4%、「サバ」が13.2%、「アカイカ」が9.5%などと続いた。一方、漁獲金額は「スルメイカ」が25.7%で最も多く、「ホタテ貝」が23.6%、「アカイカ」が8.7%、「マグロ」が5.5%、「サバ」が4.9%、「ナマコ」が4.0%などと続いた。

平成21年の漁獲数量が前年比増加した主要因はサバ、スケトウダラ、ヤリイカなどが減少したものの、ホタテ貝、スルメイカなどが大幅に増加したことによる。一方、漁獲金額が減少した要因はサバ、スケトウダラ、サケ、アカイカなどが大幅に落ち込んだことによる。



資料：青森県農林水産部

県内経済

- 7日 県内総生産、2年連続のマイナス成長**
 県が発表した 2008 年度の県民経済計算(速報値)によると、県内総生産は名目で前年度比 3.7%減の 4 兆 3,994 億円、物価変動の影響を除いた実質で同 3.2%減の 4 兆 7,573 億円となり、2年連続のマイナス成長となった。
- 11日 東北新幹線、全線開業は12月4日**
 JR 東日本は、東北新幹線の全線開業日を 12 月 4 日にすると発表した。また、開業後の 2011 年 3 月に導入する新型車両 E5 系の愛称は「はやぶさ」に決定した。
- 19日 核燃料サイクル交付金、総額 180 億円**
 経済産業省は県が提出していた核燃料サイクル交付金による地域振興計画を承認した。本年度から 2020 年度まで、県や大間町、むつ市、六ヶ所村とその隣接市町村に総額 180 億円が交付される。
「青森デスティネーションキャンペーン」へ向け全国宣伝販売促進会議
 青森デスティネーションキャンペーン(DC)推進委員会(林光男会長)は、東北新幹線全線開業を機に来年 4 月から展開される DC の「全国宣伝販売促進会議」を青森で開催した。会議には全国の旅行会社、マスコミ、JR 関係者など約 800 人が参加した。
- 26日 来春の高卒者、県内就職希望は 55.9%**
 青森労働局が発表した求職動向調査によると、2011 年春に県内の高校を卒業し就職を希望する生徒は 4,842 人で卒業予定者(1 万 3,890 人)の 34.9%を占めた。うち、学校や職業安定所の紹介を利用しての就職希望者は 4,277 人で、県内就職希望者は 55.9%(2,392 人)、県外希望者は 44.1%(1,885 人)となった。

国内経済

- 10日 国の借金、882 兆 9,235 億円**
 財務省の発表によると、2009 年度末の国債や借入金などを合わせた「国の借金」の総額は 08 年度末比 36 兆 4,265 億円増の 882 兆 9,235 億円となり、過去最大を更新した。
- 13日 「街角景気」の現状判断指数、5ヶ月連続で上昇**
 内閣府が発表した 4 月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は、前月比 2.4 ポイント上昇の 49.8 と 5 ヶ月連続で上昇した。
- 17日 機械受注、3ヶ月ぶりのプラス**
 内閣府が発表した 3 月の機械受注統計(季節調整値)によると、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の受注額は前月比 5.4%増の 7,329 億円で 3 ヶ月ぶりのプラスとなった。
- 20日 1-3 月期の GDP、4・四半期連続のプラス成長**
 内閣府が発表した 2010 年 1-3 月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比 1.2%増、年率換算で 4.9%増となり、4・四半期連続のプラス成長となった。
- 24日 5月の月例報告、景気の基調判断を2ヶ月連続で据え置き**
 政府は 5 月の月例経済報告を発表し、景気の基調判断を「着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱い」とし、2 ヶ月連続で据え置いた。
- 27日 輸出総額、5ヶ月連続のプラス**
 財務省が発表した 4 月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出総額は前年同月比 40.4%増の 5 兆 8,897 億円となり、5 ヶ月連続のプラスとなった。

全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2004(H16)	715,020	518,681	404,000	1.732	13,679	78,177	98.7	1,189,049	114,803	214,672
2005(H17)	736,324	526,410	408,548	1.623	12,998	67,035	100.0	1,236,175	117,818	213,284
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.5	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,485	95,815	209,511
2009(H21)	764,627	569,485	428,567	1.655	15,480	69,301	81.1	788,410	98,966	197,758
2009(H21) 2	761,880	559,071	434,557	1.795	1,318	12,292	71.4	62,303	7,658	14,513
3	765,414	567,747	437,537	1.776	1,537	10,782	73.0	66,628	15,898	16,510
4	764,847	567,707	433,783	1.756	1,329	5,219	76.3	66,198	3,927	15,954
5	768,223	565,972	433,094	1.746	1,203	5,399	79.8	62,805	4,961	16,180
6	758,829	570,988	430,585	1.703	1,422	4,771	81.0	68,268	8,101	16,022
7	762,666	565,033	429,099	1.697	1,386	3,710	81.9	65,974	8,505	17,356
8	759,799	564,256	426,508	1.694	1,241	2,842	83.1	59,749	8,094	15,704
9	758,706	565,973	429,087	1.680	1,155	3,088	84.6	61,181	12,721	14,939
10	756,165	562,005	426,508	1.680	1,261	2,903	85.9	67,120	8,946	15,609
11	757,397	566,623	425,373	1.674	1,132	6,948	88.1	68,198	7,238	16,215
12	781,778	569,486	428,567	1.655	1,136	2,956	90.4	69,298	7,486	20,691
2010(H22) 1	778,306	567,757	425,925	1.649	1,063	26,032	94.3	64,951	5,349	17,147
2	762,861	569,943	425,544	1.641	1,090	4,388	93.7	56,527	5,845	14,023
3	768,243	580,724	427,612	1.623	1,314	3,109	94.8	65,008	14,160	15,831
4	771,365	579,449	422,271	1.618	1,154	2,700	P 96.0	66,568		P 15,472
前月比 %	0.4	-0.2	-1.2	-0.005% 引	-12.2	-13.2	1.3	2.4	142.3	0.8
前年同月比%	0.9	2.1	-2.7	-0.138% 引	-13.2	-48.3	25.9	0.6	-10.9	-3.6
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2005年 = 100	消費者 物価指数 2005年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	東証1部 平均株価 (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円 / US \$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2004(H16)	4,768	98.4	100.3	-	4.7	11,166.37	186,184	844,543	108.17	126.864
2005(H17)	4,748	100.0	100.0	-	4.4	12,411.93	182,591	846,897	110.21	138.398
2006(H18)	4,642	102.2	100.3	-	4.1	16,117.45	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	104.0	100.3	-	3.8	16,990.46	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	108.7	101.7	-	4.0	12,142.80	162,802	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	103.0	100.3	-	5.1	9,331.18		1,049,397	93.61	153.228
2009(H21) 2	325	104.1	100.4	83.9	4.4	7,694.78	11,348	1,009,354	92.50	139.699
3	463	103.9	100.7	83.6	4.8	7,764.58	15,346	1,018,549	97.87	139.827
4	236	103.2	100.8	84.9	5.0	8,767.96	6,606	1,011,473	99.00	143.336
5	245	102.8	100.6	86.4	5.1	9,304.43	13,114	1,024,012	96.30	141.840
6	319	102.4	100.4	87.3	5.3	9,810.31	12,794	1,019,175	96.52	144.971
7	372	102.9	100.1	88.5	5.6	9,691.12	13,292	1,022,657	94.50	146.320
8	264	102.8	100.4	89.8	5.4	10,430.35	11,829	1,042,340	94.84	150.133
9	389	102.9	100.4	91.3	5.3	10,302.87	15,767	1,052,598	91.49	148.890
10	340	102.1	100.0	92.8	5.2	10,066.24	13,950	1,056,769	90.29	151.725
11	369	102.1	99.8	94.9	5.3	9,640.99	10,993	1,073,712	89.19	151.370
12	322	102.2	99.6	96.5	5.2	10,169.01	9,156	1,049,397	89.55	153.228
2010(H22) 1	320	102.3	99.4	99.3	4.9	10,661.12	P 8,998	1,053,070	91.16	153.391
2	396	102.4	99.3	99.4	4.9	10,175.13	P 14,706	1,051,079	90.28	154.897
3	580	102.6	99.6	100.5	5.0	10,671.49	P 25,342	1,042,715	90.52	159.782
4	298	P 103.0	99.6	P 101.6	P 5.1	11,139.77		1,046,873	93.38	165.893
前月比 %	-48.6	0.4	0.0	1.1% 引	0.1% 引	4.4	-	0.4	3.2	3.8
前年同月比%	26.3	-0.2	-1.2	-	0.1% 引	27.1	65.1	3.5	-5.7	15.7
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態 (人) (転入 - 転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2004(H16)	1,459,478	-6,907	-1,056	43,568	29,378	118	54,410	822,092	1,791
2005(H17)	1,449,732	-7,491	-283	42,940	28,748	120	25,451	790,713	2,082
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2009(H21) 3	1,391,164	-5,053	-45	43,889	27,585	5	1,569	57,399	576
4	1,385,598	-65	-315	44,649	27,131	10	1,054	45,917	129
5	1,385,096	-182	158	44,830	26,833	9	2,450	31,669	65
6	1,384,450	-9	-130	45,632	26,657	12	2,870	48,196	190
7	1,383,903	-32	165	44,745	26,615	8	1,052	39,000	121
8	1,383,441	7	-50	45,010	26,590	12	3,457	38,771	78
9	1,383,069	-140	-37	44,826	26,800	8	723	40,185	66
10	1,382,517	-75	-67	45,019	26,761	11	3,888	29,088	113
11	1,381,946	-47	-54	45,075	26,551	7	1,208	43,002	71
12	1,381,400	-29	-517	45,423	26,635	4	327	35,099	57
2010(H22) 1	1,380,834	-276	436	44,928	26,633	7	4,051	35,791	86
2	1,379,828	-262	-78	45,072	26,618	4	1,462	36,699	35
3	1,379,086	-4,489	-150	45,183	27,167	4	920	52,486	83
4	1,373,997	195	-234	P 45,597	P 26,785	3	396	40,408	85
5	1,373,690					5	901		
前月比 %	-0.0	-	-	0.9	-1.4	66.7	127.5	-23.0	2.4
前年同月比%	-0.8	-	-	2.1	-1.3	-44.4	-63.2	-12.0	-34.1
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高
 日銀券の年次計数は年度累計
 企業倒産は負債額1千万円以上
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2004(H16)	96.8	8,971	4,788	3,635	964	231,700	86,268	0.57	0.37
2005(H17)	100.0	7,558	4,242	2,682	841	195,425	74,883	0.67	0.44
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.71	0.48
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.69	0.47
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816		
2009(H21) 3	78.5	495	178	305	40	11,199	2,376	0.49	0.29
4	84.1	512	358	147	60	31,491	8,948	0.47	0.27
5	84.8	510	349	135	62	7,081	2,864	0.49	0.27
6	80.9	514	312	187	53	16,175	6,135	0.54	0.29
7	93.4	526	317	170	61	25,051	5,735	0.49	0.28
8	95.5	452	303	135	56	19,568	9,758	0.57	0.29
9	96.7	454	290	129	52	27,905	13,960	0.53	0.28
10	93.0	353	242	94	39	18,264	6,221	0.48	0.28
11	94.5	445	242	173	45	9,746	1,515	0.53	0.28
12	91.4	606	217	357	51	9,872	3,605	0.52	0.28
2010(H22) 1	90.8	183	114	62	18	7,594	1,066	0.55	0.30
2	94.2	188	102	72	19	5,982	1,553	0.59	0.32
3	P 95.2	273	149	95	29	10,931	2,451	0.51	0.32
4		394	278	89	49	33,498	7,888	0.55	0.32
前月比 %	1.1	44.3	86.6	-6.3	69.0	206.4	221.8	0.04 [※] イト	0.00 [※] イト
前年同月比%	22.5	-23.0	-22.3	-39.5	-18.3	6.4	-11.8	0.08 [※] イト	0.05 [※] イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数
 求人倍率の年次の欄は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2005年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 リッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2004(H16)	184,957	33,711	47,807	100.0	308,706	178,484	25,464	-	-
2005(H17)	180,137	32,986	47,026	100.0	286,255	168,420	23,479	-	-
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.2	299,079	158,530	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	99.9	286,305	141,530	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.3	291,752	143,144	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.2	302,596	161,045	19,497	-	-
2009(H21) 3	13,939	3,333	5,647	100.4	300,598	14,024	1,670	-	-
4	13,466	1,769	2,935	100.3	344,718	15,679	1,966	24.5	-43.6
5	13,400	1,727	2,832	100.2	288,713	16,636	1,955	-	
6	13,162	2,257	3,338	100.1	252,392	16,263	1,849	-	-35.0
7	13,744	2,844	3,848	100.3	305,813	14,990	1,814	37.0	
8	14,736	1,799	2,643	100.4	322,959	13,710	1,506	-	-26.4
9	12,576	2,807	4,183	100.9	313,639	12,052	1,415	-	
10	12,611	2,567	3,701	100.0	263,198	10,562	1,159	37.5	-27.4
11	12,807	2,605	3,491	99.5	245,526	9,846	1,025	-	
12	15,506	1,922	2,739	99.9	364,165	10,656	1,189	-	
2010(H22) 1	15,463	1,997	3,093	100.2	281,639	16,722	2,573	34.3	-27.4
2	12,417	2,436	3,704	100.2	235,952	13,368	1,729	-	
3	13,456	4,258	6,381	100.2	282,451	10,561	1,317	-	-
4	P 13,496	2,492	3,477	99.7	298,046	10,445	1,273	46.7	-
前月(期)比%	-	-41.5	-45.5	-0.5	5.5	-1.1	-3.3	12.4ポイント	-1.0ポイント
前年同月(期)比%	-0.8	40.9	18.5	-0.6	-13.5	-33.4	-35.2	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2004(H16)	267,724	312	196	142,787	28,689	11,667	45,253	65,236	106,412
2005(H17)	270,487	265	166	149,899	24,335	11,876	44,996	70,766	119,970
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)				139,275	21,694	9,692	19,401	113,721	103,957
2009(H21) 3	41,785	220	108	4,911	1,493	718	819	8,519	7,368
4	35,800	230	148	2,857	588	553	2,064	10,805	9,182
5	27,539	260	-	3,427	662	1,097	1,015	8,370	9,576
6	18,833	278	-	4,233	600	1,022	1,437	7,372	8,379
7	12,857	329	-	13,406	2,560	813	1,415	9,821	10,200
8	4,111	348	-	18,848	2,746	688	4,042	10,459	5,949
9	24,814	186	121	33,463	3,041	844	869	5,713	8,097
10	23,337	206	161	24,529	3,118	943	982	6,101	9,663
11	22,133	226	136	13,560	2,404	770	2,235	12,463	9,167
12	26,377	243	126	9,122	1,921	610	1,976	10,646	10,137
2010(H22) 1	37,708	230	135	4,696	978	720	3,468	11,225	9,012
2	36,169	232	129	5,570	1,145	1,087	1,665	7,278	6,618
3	37,107	242	140	4,166	1,088	578	1,445	16,809	11,093
4	30,673	270	192	2,676	627	718	3,930	11,503	8,452
前月比 %	-17.3	11.6	37.1	-35.8	-42.4	24.2	172.0	-31.6	-23.8
前年同月比%	-14.3	17.4	29.7	-6.3	6.6	29.8	90.4	6.5	-8.0
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (度C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2009(H21)	10.6	1,459.5	1,563.7	17,019
2009(H21) 3	2.6	77.0	124.8	1,619
4	9.0	113.5	211.2	1,655
5	14.2	48.5	211.4	1,006
6	17.3	76.0	146.6	1,260
7	20.8	258.5	124.6	1,380
8	21.9	118.0	142.1	1,660
9	18.4	109.0	172.4	1,502
10	13.9	151.0	167.7	1,359
11	7.5	116.0	88.5	1,110
12	1.4	129.0	41.7	1,342
2010(H22) 1	-0.5	175.5	42.3	1,566
2	-1.0	77.5	87.8	1,329
3	1.8	111.0	101.6	1,550
4	7.2	57.5	136.5	1,727
前月比%	5.4度C	-53.5ml	34.9h	11.4
前年同月比%	-1.8度C	-56.0ml	-74.7h	4.4
資料出所	青森地方気象台			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2007 (H19)			
1~3月	-20.3	-10.5	-3.2
4~6月	-25.4	-9.3	-25.5
7~9月	-21.9	2.0	-20.7
10~12月	-25.4	-33.3	-25.9
2008 (H20)			
1~3月	-29.1	-39.6	-30.5
4~6月	-35.0	-52.1	-35.2
7~9月	-44.6	-40.4	-14.3
10~12月	-50.9	-72.7	-29.4
2009 (H21)			
1~3月	-32.1	-54.2	-39.1
4~6月	-52.6	-32.6	-43.4
7~9月	-35.2	-11.4	-52.5
10~12月	-35.7	-9.8	-29.4
2010 (H22)			
1~3月	-31.6	-12.8	-35.8
4~6月	-26.3	-21.3	-34.0
資料出所	青森銀行BSI('10.4~6月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2009(H21) 3	303,277	183,931	239,608	940	429	593	206	33	123
4	302,141	182,719	238,742	436	170	393	140	48	117
5	302,503	183,298	238,729	435	197	383	104	64	126
6	302,437	183,206	238,654	603	243	452	126	84	120
7	302,324	183,072	238,596	742	316	587	112	66	111
8	302,385	183,129	238,510	439	225	370	100	44	83
9	302,305	183,134	238,421	689	327	563	82	45	153
10	302,143	183,041	238,380	607	283	544	58	49	96
11	302,068	182,966	238,316	554	256	605	60	61	156
12	301,982	182,919	238,188	470	208	387	107	94	141
2010(H22) 1	301,793	182,938	238,087	478	235	415	23	12	67
2	301,519	182,873	238,036	583	301	525	17	29	86
3	301,356	182,711	238,060	1,096	564	767	45	34	104
4	300,263	181,741	237,043	555	252	586	73	35	128
5	300,584	182,365	236,995						
前年同月比%	0.1	0.3	-0.0	-49.4	-55.3	-23.6	62.2	2.9	23.1
	-0.6	-0.5	-0.7	27.3	48.2	49.1	-47.9	-27.1	9.4
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産						
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2009(H21) 3	0.22	0.23	0.28	0	0	2	1,300	0	0	0
4	0.19	0.20	0.24	0	0	0	0	3	174	0
5	0.19	0.18	0.24	6	1,960	0	0	0	0	0
6	0.21	0.22	0.26	7	556	1	14	2	2,030	0
7	0.22	0.20	0.26	4	662	0	0	0	0	0
8	0.23	0.25	0.32	5	780	2	260	3	1,250	0
9	0.24	0.32	0.35	3	250	1	210	1	146	0
10	0.24	0.35	0.33	2	170	2	1,030	1	1,800	0
11	0.22	0.32	0.32	3	460	0	0	2	328	0
12	0.17	0.19	0.24	1	30	1	50	0	0	0
2010(H22) 1	0.17	0.16	0.21	2	2,365	0	0	2	290	0
2	0.23	0.22	0.26	1	50	0	0	0	0	0
3	0.26	0.27	0.31	0	0	1	60	1	300	0
4	0.21	0.22	0.29	1	300	0	0	0	0	0
5				1	350	0	0	2	367	0
前月比%	-0.05 ポイント	-0.05 ポイント	-0.02 ポイント	0.0	16.7	-	-	-	-	-
前年同月比%	0.02 ポイント	0.02 ポイント	0.05 ポイント	-83.3	-82.1	-	-	-	-	-
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による